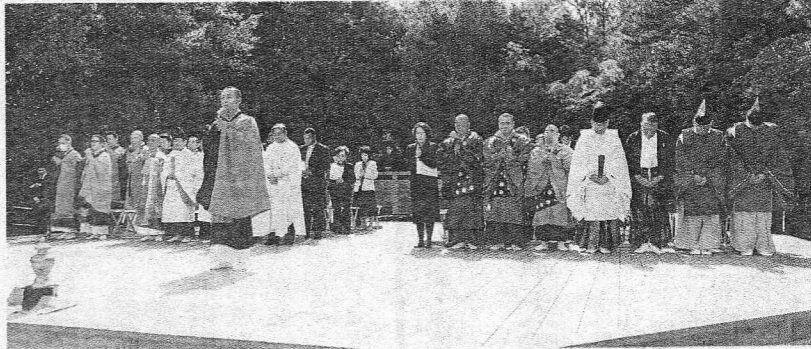


県内宗教者のNGOネットワーク

岡山 復興祈り合同慰霊祭



合同慰霊祭で黙とうをささげる参加者たち

県内の宗教者らでつくる「人道援助宗教NGOネットワーク」(RNN)は29日、岡山市北区尾上の黒住教・神道山日拝所で、東日本大震災の合同慰霊祭を行った。

真言宗、金光教、カトリック、天台宗、黒住教の宗教者や信者ら約80人が参加。RNNの永宗幸信委員長(倉敷市玉島黒崎、本性院副住職)が「行方不明

者の発見、被災地の早期復興と一緒に祈りたい」とあいさつ。国際医療ボランティアAMDAの調整員として岩手県入りしたRNNの宮本龍門委員(岡山市北区南方、長泉寺住職)が活動報告した。

参加者は地震が起きた午後2時46分に全員で黙とう。5宗派が順に読経したり、祝詞を上げるなどし、犠牲者の冥福と被災地の復興

を祈った。(三島翔)